

大阪府立藤井寺高等学校学校運営協議会 議事録

校名	府立 藤井寺高等学校
校長名	水元 誠致

開催日時	令和 5年 12月 15日 (金) 14:00 ~ 15:00
開催場所	本校3F会議室
出席者(委員)	坂井会長 北村委員 藤井委員 若林委員 宇野委員
出席者(学校)	水元校長 川本教頭 他 11名
傍聴者	なし
協議資料	資料1 第1回 授業アンケートの結果 資料2 令和6年度使用教科書採択について 資料3 令和5年度(2023年度) 外部説明会・広報等 資料4 進路報告 資料5 49期生 修学旅行(北海道)
備考	

議題等(次第順)	
1 第1回 授業アンケートの結果	資料1(校長)
2 令和6年度 教科書採択	資料2(吉岡 首席)
3 学校説明 生徒から見た藤高 学校説明会 報告	動画(松田 教諭、本校生徒) 資料3(吉岡 首席)
4 進路報告 3年生の現状 他	資料4(坂本 進路部長)
5 49期生 修学旅行(北海道)	資料5(林 2年学年主任)
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
1 第1回 授業アンケートの結果	資料1(校長)
<p>(授業アンケートの結果に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果を元に授業改善シートを作成し、各々で授業分析を行っている。</li> <li>本校の課題としては、来年度の3年生の文系A(難関大学志望)の生徒の人数が少なく、消極的な生徒が多い傾向にある。</li> <li>より向上心を持って学習に取り組む生徒を育てることが必要。</li> </ul> <p>(北村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高い数値を保っていることは素晴らしい。生徒を承認しながらの教育ビジョンが結果に結びついているのではないか。</li> </ul>	
2 令和6年度 教科書採択	資料2(吉岡首席)
<p>(教科書採択の傾向に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての教科書採択に関して承認された。</li> <li>デジタルデータや2次元コードの導入も1つの基準となっている。</li> <li>生徒の一人一台端末を活用した教材や、教材研究のしやすさなどが重視されている。</li> </ul>	

<p>3 学校説明 生徒から見た藤高 学校説明会 報告</p> <p>(生徒による学校説明会報告) ・道明寺中学校の生徒のみならず、保護者からの称賛の声が多い。</p> <p>(外部説明会・広報等) ・第1回学校説明会では全体説明会を行い、生徒・保護者を合わせて250名が来校した。 ・第2回学校説明会では、全体説明会のみならず、授業・部活動体験・校内見学を行い、保護者と生徒延べ430人が参加した。 ・第3回学校説明会は2024年1月20日に実施予定である。</p>	<p>動画 (松田 教諭、本校生徒) 資料3 (吉岡首席)</p>
<p>4 進路報告 3年生の現状 他</p> <p>(進路状況) ・大学については70%以上の生徒が進学を目指している。 ・多様な進路の実現に向けて努力している生徒が多い。</p>	<p>資料4 (坂本進路部長)</p>
<p>5 49期生 修学旅行(北海道)</p> <p>(修学旅行について) ・修学旅行の目標は、総合的な探究の時間と絡めながら、アイヌ文化についての学習を行うことができた。</p> <p>(坂井会長) ・修学旅行についての生徒の満足度が知りたい。 →アンケートの結果や探究の発表等から「生徒が十分満足している」と確信している。(林学年主任)</p> <p>(北村委員) ・修学旅行の行き先、目的を含めて学校や学年単位で持つべきである。 →行き先、目的については学年、学校で十分検討している</p> <p>(坂井会長) ・「生徒」が修学旅行に直接関わっている意識が欲しい。できるなら、修学旅行先の決定にも生徒が関わられるようにしてもらいたい。 →現状では予約の関係で新入生が入学する前に行先を決定しなければならない</p>	<p>資料5 (林 2年学年主任)</p>
<p>各委員のご意見</p> <p>(若林委員) ・生徒が直接プレゼンテーションを見て、生徒主体の学校運営が良くできている。 ・生徒をどう伸ばすのか、予習や復習をしている生徒の割合をどのように増やしていくのかを考える必要がある。 →学校全体で検討していく</p> <p>(藤井委員) ・遅刻ギリギリで自転車登校をしている生徒の速度が速く、事故につながらないか心配である。 また、日傘をさして自転車に乗っている生徒があり、驚いている。 →日傘についてはノーチェックでした。指導の対象とするよう検討する ・予鈴が8:25、本鈴が8:30。予鈴を過ぎての登校は80人以上である。 遅刻は年間およそ3000件で同じような生徒が多い。遅刻指導は基準を設けて指導している(中尾首席)</p> <p>(北村委員) ・5人の生徒とすれ違い挨拶100%であった。 ・自然とあいさつができる生徒を見て、「生徒たちが自ら判断し、行動できるようになる」仕組みが藤高らしさを生んでいる。</p> <p>(宇野委員) ・生徒による学校紹介は学校の様子がとても分かりやすく良かった。 ・小学校でも予習復習が課題となっており、全体で意識的に取り組む必要がある。 ・本校で取り組んでいる放課後子ども教室に参加してもらい、感謝している。</p> <p>(坂井会長) ・生徒の予習・復習をどうさせていくか。学習習慣はどのようにすればつくのか、意識的に予習や復習のできる授業づくりを行うとよい。 ・生徒のプレゼンが非常にうまかった。今後、このプレゼンを見て、自分もやりたいという生徒が入学を希望してくるかもしれない。</p>	<p>(学校運営協議会 委員)</p>
<p>日時</p>	<p>令和6年2月中旬ごろ</p>
<p>会場</p>	<p>藤井寺高等学校 1F 校長室</p>